

本稿は2017年1月20日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。  
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。  
原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。



## AIG、再保険取引についてパークシャー・ハサウェイの事業部門と合意

- 本取引により、資本効率の最適化を図る戦略を促進
- 米国コマーシャル部門の事故年度2015年以前に係る実質的にすべてのロング・テール・エクスポージャーについて、リザーブ・リスク（2016年1月1日現在割引後累計約340億ドル）の80%を移転
- 保険金支払業務を引き続き担い、お客様に対してサービスを提供することへのコミットメントを維持

ニューヨーク、2017年1月20日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（本社：米国・ニューヨーク（NYSE: AIG）以下、「AIG」）は、本日、パークシャー・ハサウェイ傘下のナショナル・インデムニティ・カンパニー（以下、「NICO」）との間で、2016年1月1日付アドバース・デベロップメント再保険契約のタームシートが合意されたことを発表しました。本取引は、米国コマーシャル部門の事故年度2015年以前に係る実質的にすべてのロング・テール・エクスポージャーの80%をカバーするもので、その期間のAIGの米国カジュアルティ保険事業のエクスポージャーの最大の部分が含まれます。AIGは、損害サービスに関する対応および決定の権利を単独で持ち、NICOは、情報へのアクセス、協議に参加し、見解を述べる権利を有することになります。

AIGの社長兼CEOのピーター・D・ハンコックは、「今回の重要な措置によって、私たちは将来をしっかりと見据え、AIGにおける変革のための取組みを礎にした進展を遂げることができます。本取引は、私たちが公表している戦略の遂行を支えるものであり、お客様にサービスを提供し、株主に対して資本の還元を行うためのリスク・キャパシティの増加につながります。」と述べました。

本取引の対価となる98億ドルは、2017年6月30日までに全額を支払うものとし、2016年1月1日から支払日まで年利4%の利息を付するものとし、NICOに支払われる対価は、AIG傘下の事業会社に対するNICOの再保険支払義務の担保として担保信託口座に入金するものとし、パークシャー・ハサウェイが本取引におけるNICOの義務を保証するための親会社保証を提供するものとし、

NICOは、対象となるリザーブに係る正味保険金および付帯費用の最初の250億ドルを超える部分の80%を負担することとし、本取引におけるNICOの責任限度額は200億ドルです。これによって、現在の支払備金水準を超えるアドバース・デベロップメントについても、保険契約者に対する十分な保護が提供されることとなります。

AIGの第4四半期のリザーブに関する検討は続いており、結果は、当社の2016年度通期決算に含まれますが、当社は、現在、第4四半期に過年度事故に対するリザーブの増加を予想しています。

本取引は、2017年第1四半期に遡及的再保険契約として会計上の処理が行われます。AIGは、支払った対価と移転したリザーブの2016年12月31日における差額に等しいものを合意の開始時点で損失または繰延利益として計上します。仮に本取引が2016年1月1日付で行われていれば、AIGは、その時点での割引後累計リザーブ約340億ドルに基づいて約29億ドルの損失を計上することになっていたでしょう。この損失からは、本取引がカバーする過年度アドバース・デベロップメントについて2016暦年中に再保険回収が見込まれるNICOの80%シェア部分が減額されること

になります。NICOの持ち分が29億ドルを超える場合、繰延利益が設定され、見込まれるNICOからの再保険金回収に従った償却により損益計算書に取り込まれることとなります。

本合意により想定される取引の確定は、必要とされる当局の認可、本取引に関する最終的な文書化及びその他の条件の実施を前提としています。

###

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、100以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、リタイアメント商品およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc. はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

AIGに関する追加情報については [www.aig.com](http://www.aig.com) および [www.aig.com/strategyupdate](http://www.aig.com/strategyupdate) | YouTube: [www.youtube.com/aig](http://www.youtube.com/aig) | Twitter: @AIGinsurance | LinkedIn: <http://www.linkedin.com/company/aig> をご参照ください。AIGに関する追加情報についてのこれらの参照先は便宜のために提供されており、当該ウェブサイトに含まれる情報は言及により本プレスリリースに組み込まれるものではありません。

AIGとは、アメリカン・インターナショナル・グループ傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業および一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ ([www.aig.com](http://www.aig.com)) をご参照ください。全ての商品およびサービスはアメリカン・インターナショナル・グループ傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、補償は実際の契約内容に依存します。保険以外の商品およびサービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、被保険者は当該基金に保護されていません。

本プレスリリースには、1995年米国私的証券訴訟改革法の定義における「将来予測情報」が含まれています。これは、将来の出来事に関するAIGの考えを示しているに過ぎず、予測に基づいており、年度末の監査プロセスの完了を含め、リスクや不確実性があるものです。米国における証券法により求められている重要な情報の公開に関するAIGの責任を除き、本取引の契約日以降の事象を反映する将来予測情報への変更に関する情報は公開しないものとします。